

トキ保護増殖事業

*トキ保護増殖事業は、国内希少野生動物種であるトキの保護増殖を図るため、環境省が新潟県に委託して実施している事業です。

*トキの飼育・健康管理については、東京都の動物園から助言と協力を得ています。

*野生のトキが生息している中国との協力は、トキの保護増殖を図る上で不可欠です。

*近年の保護増殖事業

<日中協力>

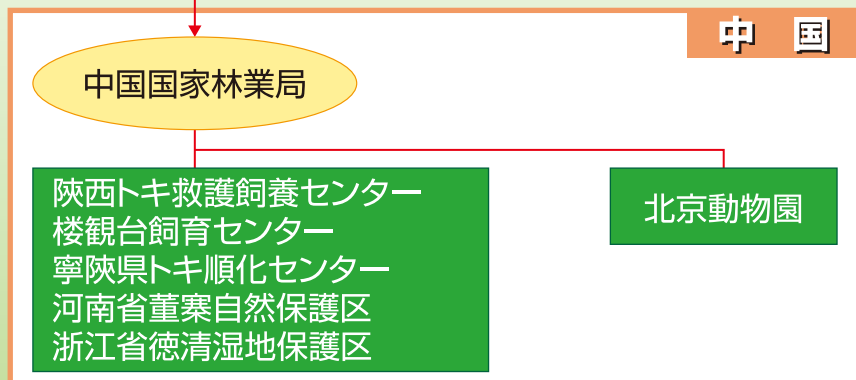
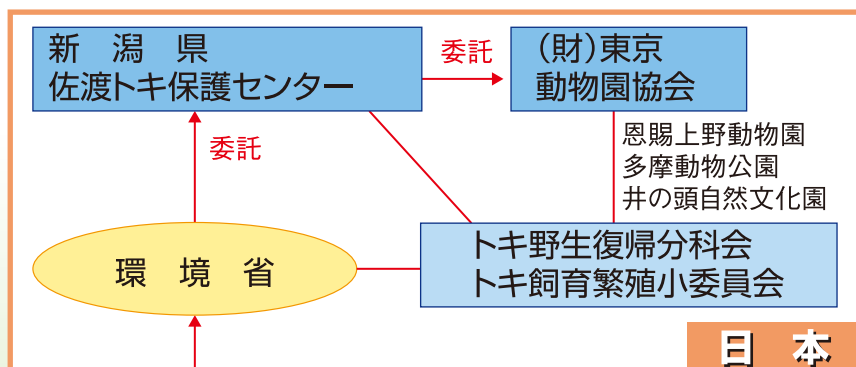
- ・昭和60～平成1年 中国からホアホア借り入れ
- ・平成2～4年 日本産の雄ミドリを北京動物園へ送る
- ・平成6～7年 中国からロンロンとフォンフォン借り入れ
- ・平成11年 中国からヨウヨウとヤンヤンが贈られる
- ・平成12年 中国からメイメイの供与を受ける
- ・平成16年 陝西省林業庁野生動物管理ステーション関係者来日
- ・平成17年 佐渡トキ保護センター職員洋県訪問
- ・平成18年 同上
- ・平成19年 中国からホアヤンとイーシュイの供与を受ける

<飼育管理>

- ・トキの生理や生態に関するデータの収集と記録
- ・東京都の動物園による年数回の定期検診

<自然繁殖の研究>

- ・人間が関与しない、トキの自然孵化及び自然育雛の研究



[生殖羽] 繁殖期(2月～7月)になると羽色が灰黒色に変化し(生殖羽)、特有の繁殖行動が見られるようになる。



[孵化直後の優優] 平成11年、日本で初めて人工孵化により誕生。



[給餌] 注射ポンプで特製の流動食を与える。



[あいあい(左)としんしん(右)] 平成12年生まれの子供。幼鳥の顔は黄色、羽は灰色、翼の下面は黄色。



[成長した優優] 飼育下のトキは、普通2才で繁殖を始める。